

東北大学大学院国際文化研究科を受験予定の皆様へ 令和5年度春季入学試験の実施方法等の変更について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和5年度一般選抜春季入学試験及び進学者選抜入学試験（両入学試験ともに2023年2月実施）について、下記の通り実施方法等を変更します。これにより、出願書類についても一部変更しますので注意してください。

なお、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集要項の内容をさらに変更する場合がありますので、本研究科の入試情報 Web ページに注意してください。

https://www.intcul.tohoku.ac.jp/contents/application_guidelines/

記

1. 筆記試験はオンラインによる口述試験に変更します。

面接試験も同時にオンラインで実施します。オンライン試験の詳細は出願書類を受け付けた後、受験票送付と合わせて受験者に通知します。

2. 課題について

①筆記試験を行わないことから、受験票と一緒に志望専攻分野（講座）の専門的知識に関する課題をオンライン・ストレージ・サービスを通じて送付します。回答は、定められた期日までに、同オンライン・ストレージ・サービスにアップロードしていただきます。

なお、この回答は口述試験の参考資料とし、入学試験の合否判定には直接影響しません。

②この課題を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。

③同一専攻分野（講座）への進学者選抜受験者には、課題を課しません。

④課題に関する詳細は、課題送付時にお知らせします。

3. 口述試験について

①従来の面接試験で質問する内容に加えて、提出書類にもとづき専門的知識を問います。なお、研究内容に関して、外国語の能力を問うことがあります。口述試験の長さは募集要項に記載した20分程度よりも長くなります。

②同一専攻分野（講座）への進学者選抜受験者は、専門的知識に関するオンライン口述試験を課しません。面接試験のみオンラインで実施します。

③受験者には安定した通信が見込めるインターネットが利用でき、かつ個室となる

場所の確保をお願いします。なお、本研究科に所属する受験生（正規生、研究生等で在籍する者）は、院生室からの受験は認めません。

試験当日はモニターに顔を映して受験していただきます。ウェブカメラとマイクを装備しているパソコン、タブレット、スマートフォン等をご利用ください。できるだけ映像や音声がスムーズで鮮明な機器を用いてください。なお、このような環境の確保が難しい場合には、早めに本研究科教務係までご連絡ください。

④口述試験の具体的な実施方法については追って連絡をします。

4. 出願について

本研究科に所属していない方は、郵送による出願のみとします。持参による出願は認めません。

以上

令和4年10月11日

東北大学大学院国際文化研究科長